

事業の基礎情報

実施主体	阿賀野市観光協会
事業実施地域	新潟県阿賀野市
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	観光・まちづくり
共創パートナー	(株)宇尾野設計・機工、安田瓦協同組合、五頭温泉郷旅館協同組合、サントピアワールド株式会社
運行形態	①実証事業として運行する交通モード（オンデマンドバス、レンタサイクル） ②バス（一般乗合旅客自動車運送事業）
運行主体	(株)宇尾野設計・機工、阿賀野市観光協会（レンタサイクル）

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

①利用者の減少（市営バス市民1人利用率 H28年2.65回/年 → R2年2.00回/年）、（鉄道/JR水原駅 1日あたりの平均乗車人員 H26年815人 → R2年700人） ②地域住民の足の確保：現状・課題全11路線のうち安田地域循環線を除く10路線は、各地区（安田地区、京ヶ瀬地区、笹神地区）から、あがの市民病院や駅周辺、水原商店街等を経由して阿賀野市役所まで運行。平日のみの運行が10路線で、土曜日曜は五頭温泉郷線だけの運行となり、住民はもとより観光客移動も、自動車中心になり、社会活動（買物、交流、観光など）が低調となる一要因と考えられる。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有 施策5 その他の交通手段への支援
住民が主体となった移動手段の検討

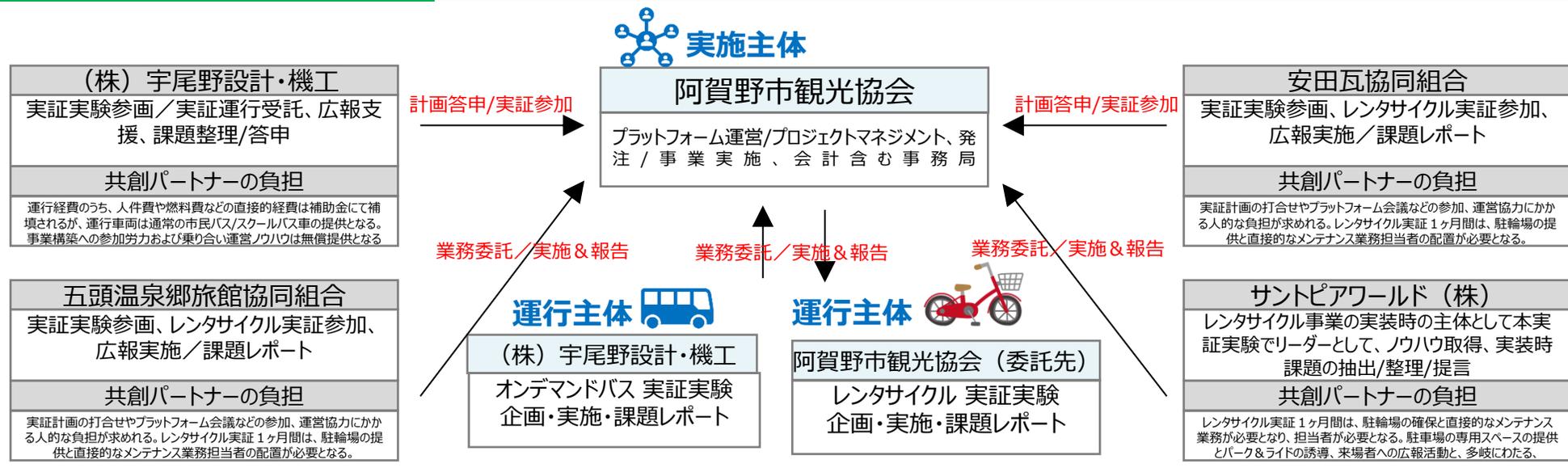
運輸局・運輸支局への事前相談

北陸信越運輸局交通政策部交通政策課

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

- 観光における2次/3次交通としてオンデマンドバスとレンタサイクルの運行企画/実証/課題抽出を行う。基本土曜日は市民バスが走らない安田エリアで実証する。
- ① レンタサイクルを24時間利用可能な状態で、1ヶ月間、『サントピアワールド』、『安田瓦テラス』、『五頭山麓情報発信基地/うらの森・道の駅』に配置し、貸出/返却は3ヶ所自由とする。実証移動データ(GPS)の収集及びWEBアンケートを実施し、属性別に利用目的(観光、通勤、生活など)、移動経路、採算性などの検証を行う。
 - ② 本年秋から平日に、本実証実験エリアを属する地域で、オンデマンドバスが運行される。交通×観光の実証実験として、五頭温泉郷と安田エリアを中心に、土日でオンデマンドバスを運行し、観光客の2次交通の可能性・土日の地域住民の足の確保に寄与するかを検証課題とする。

(地域の関係者との連携・協議)

- ① 大きな集客施設『サントピアワールド』が参画することで、拠点駐車からの2次3次交通での回遊実証実験が可能となった。
- ② 五頭温泉郷旅館(協)、安田瓦(協)が連携に加わり観光周遊効果が検証できる。
- ③ オンデマンドバスの土日運行が、観光客の利用増加が、公共交通の維持に有効かの検証が可能となる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

既存交通との重複は発生しない。市民バスは土日運行をしておらず、レンタサイクルは、新規2次交通の実証となる。(現状：五頭温泉郷で5台展開中)

事業実施手順・スケジュール

1. 実証プロジェクト立上げ（事業主体/代表阿賀野市観光協会：から徴集、定期開催通知）
 - ・共創プラットフォーム全体会議にて、本事業概要及び参画/参加主体の実施範囲/責任を確認する
 - ・プロジェクト推進の為に外部委託先/内容について全体共有をはかり、実施体制を強化する
 - ・代表とプロジェクト実施委託先にて実施計画及び管理方針を策定し、パートナー間合意を図る
2. 実施計画策定（2分野別に共創パートナー、代表、プロジェクト実施委託先で作成）
 - ・オンデマンドバス：あがの観光、レンタサイクル：安田瓦テラス、五頭温泉郷うららの森/道の駅
3. 実証実験/プロジェクト管理
 - ・上記2記載の共創パートナーと代表＝運行主体とプロジェクト実施委託先にて推進する
4. 実証データ収集
 - ・実証実験進捗に合わせ、運営課題及び利用データを収集/整理する
5. 課題整理/分析/レポート作成
 - ・代表/委託先に、交通系コンサルを加えて、実証実験結果の分析、プラットフォームにて検討する
 - ・最終報告書作成（検証結果と今後の実装にむけた課題明示）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①阿賀野市観光協会			申請	共創会議/計画・実施/プロジェクトマネジメント/実証分析・清算・報告								
運行主体(①②)							実証運行/タクシー・レンタサイクル					
②(株)宇尾野設計・機工				共創会議 ・ MaaS計画 ・ 実施/課題抽出 ・ 実証報告								
安田瓦協同組合				共創会議 ・ MaaS計画 ・ 実施/課題抽出 ・ 実証報告								
五頭温泉郷旅館協同組合				共創会議 ・ MaaS計画 ・ 実施/課題抽出 ・ 実証報告								
サントピアワールド(株)				共創会議 ・ MaaS計画 ・ 実施/課題抽出 ・ 実証報告								

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

1. オンデマンドバスの利用エリアの拡大及び土日運行は、地域住民の利便性向上となり、土日の生活活動の拡大が期待される
2. レンタサイクルによる周遊観光の拡大が検証されれば、地域観光に貢献する。また、レンタサイクルの導入は、観光客だけにとどまらず、通勤や住民生活の足としても機能する。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

観光客の受入れが、地域の観光関連事業者（宿泊、飲食、体験施設、商店街など）の活性化に寄与するとともに、地域公共交通の利用者拡大となり、地域住民の使いやすい（エリアや便数拡大など）運行になる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input type="radio"/>	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="radio"/>	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

本実証実験によるアンケートや定性・定量データは、阿賀野市に提供され、公共交通政策へ活用される。

次年度

- ・観光オンデマンドバスは、本実証分析を生かし、採算性／時期などをさらに検討していき、増便/エリア拡大の検討材料となる
- ・レンタサイクルの導入は、他地域（新潟市、金沢市、東京都内など）では、市街地中心部での導入であり官民で運営を行っている。供給事業者も複数あり、地域での需要予測と柔軟な運営体制が構築できるならば、本格導入の検討に進むと思われる

資金面	実施主体 阿賀野市観光協会による資金調達予定
人材面（運転手の確保）	実施運行主体で確保済み